

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



安田倉庫グループ 個人投資家向け会社説明会

安田倉庫株式会社（東証プライム：9324）

代表取締役社長 藤井信行

2023年9月10日

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

目次

1. 安田倉庫について
2. 成長戦略（長期ビジョンと中期経営計画）
3. 株主還元
4. 参考資料

01

安田倉庫について

会社概要

会社名	安田倉庫株式会社 Yasuda Logistics Corporation
所在地	東京都港区芝浦三丁目1番1号 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 29階
創立	1919年12月20日
代表者	代表取締役社長 藤井 信行
事業内容	倉庫業、運送事業、不動産業
資本金	3,602,100千円
市場	東証プライム（証券コード：9324）
従業員数	単体 466名 連結2,098名（2023年3月末）
グループ会社	23社（国内16社 海外7社）
決算月	3月



msb Tamachi
田町ステーションタワーN

企業理念・コーポレートスローガン

安田倉庫グループ企業理念



安田倉庫コーポレートスローガン

Logistics, Progress, Borderless.

お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーに成長すべく、当社グループが一体となり、その一人一人が従来の事業の枠にとらわれることなく常に発展・成長を続け、物流を進歩させていく決意を表しています。

100年を超える歴史

1919年

興亜起業(株)
として創立



安田善次郎



守屋此助

1942年

社名を
安田倉庫(株)
に改称



函館常備倉

2005年

東証1部
上場



2019年

創立100周年



大西運輸・オオニシ機工
のグループ化決定



大西運輸



オオニシ機工

2020年

2021年

東京メディカル
ロジスティクス
センター
I・II開設



南信貨物自動車Gの
グループ化



2022年

東証
プライム
移行



2023年

エーザイ物流・YSO Logiのグループ化



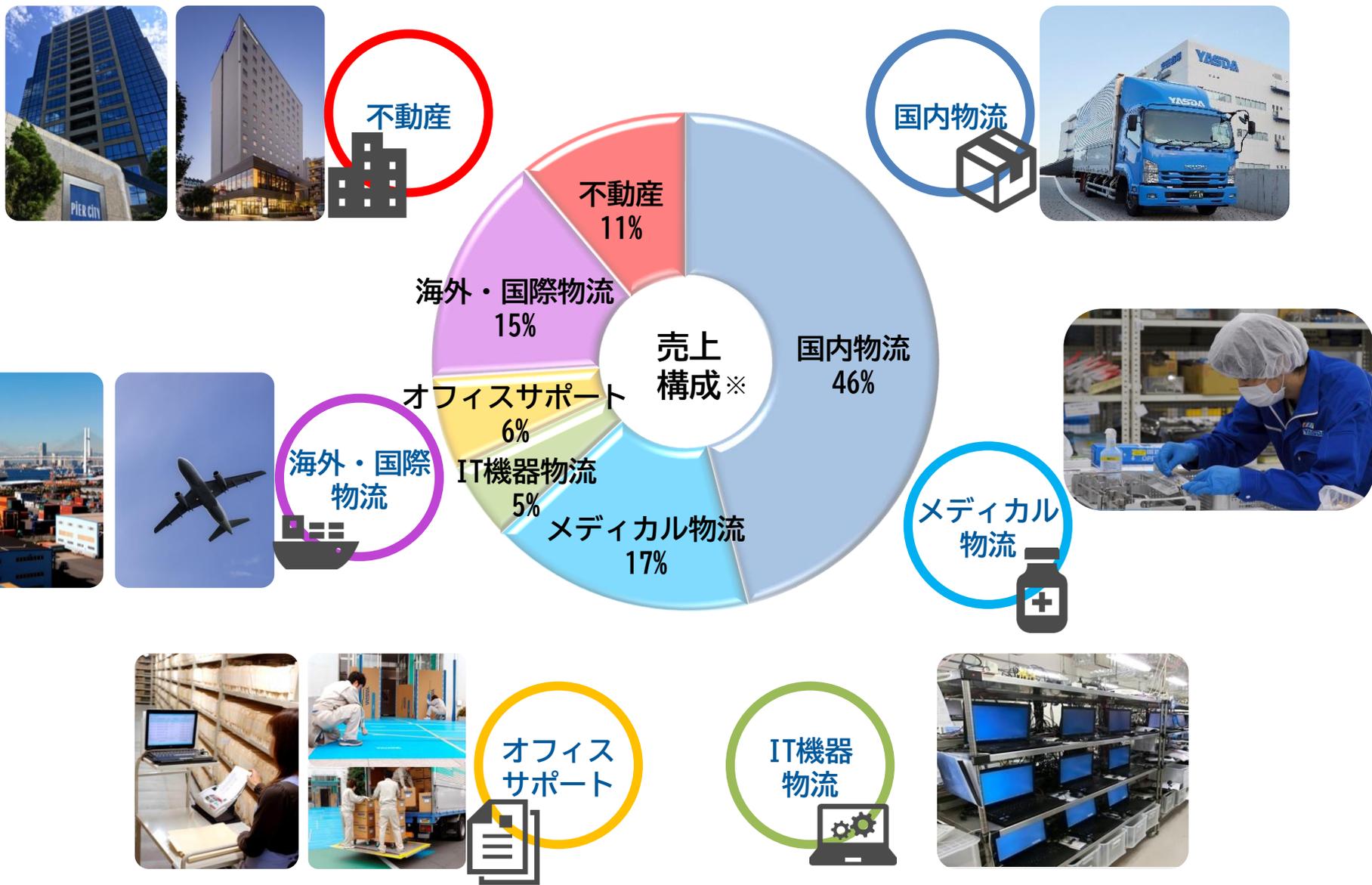
エーザイ物流
インド・シンガポールへの進出決定



YSO Logi

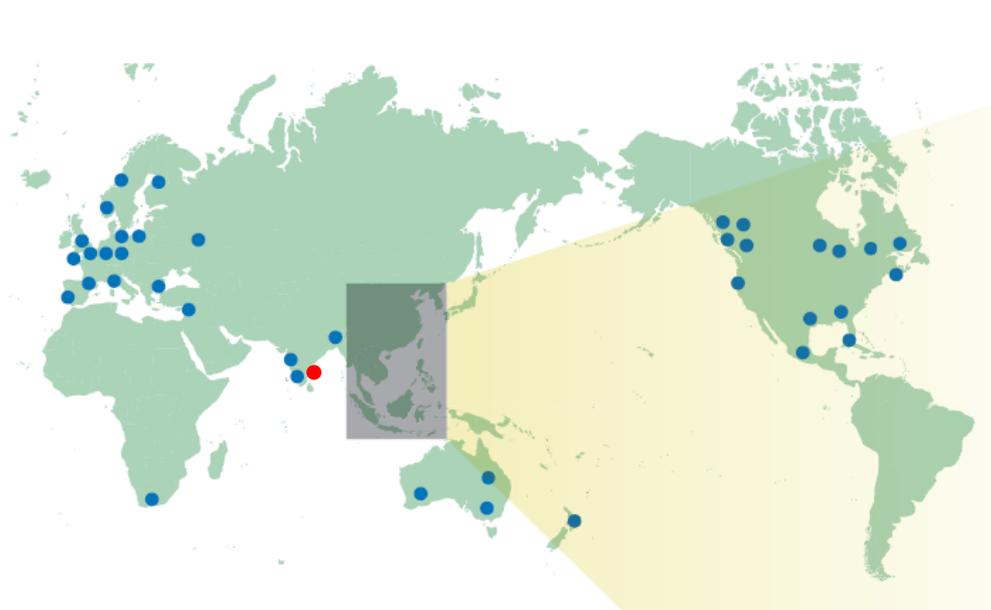


様々なサービスを提供する総合物流企業



※ 内部消去前

中国・ASEANを中心に世界各国へ展開するネットワーク

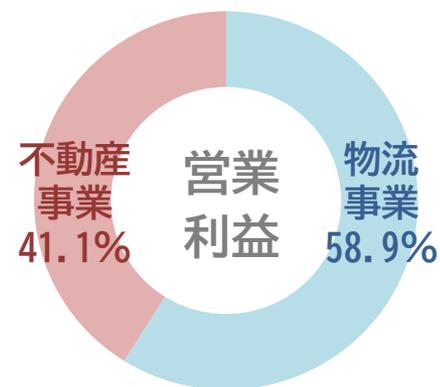
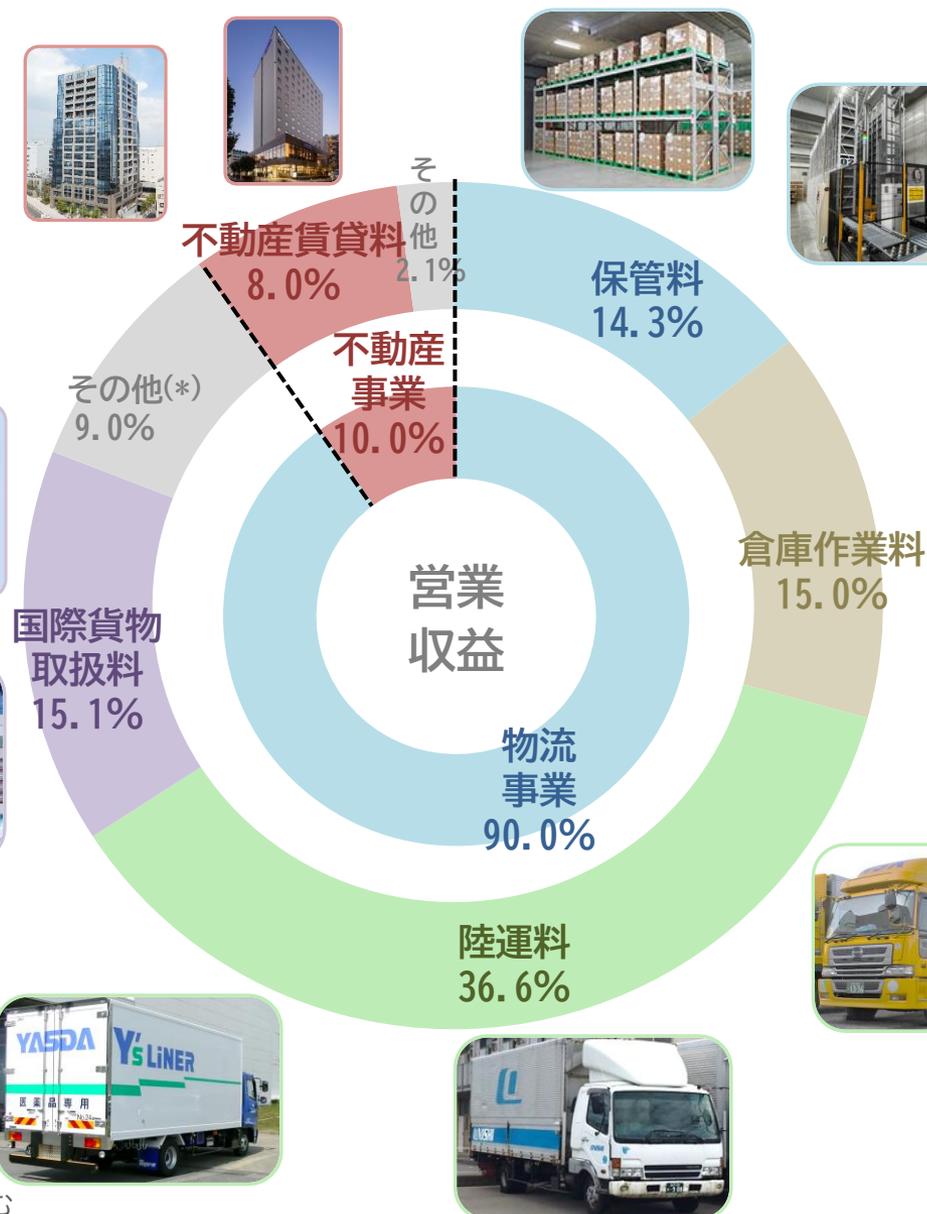


中国・ASEAN 拡大図 ● 自社拠点 ● 代理店



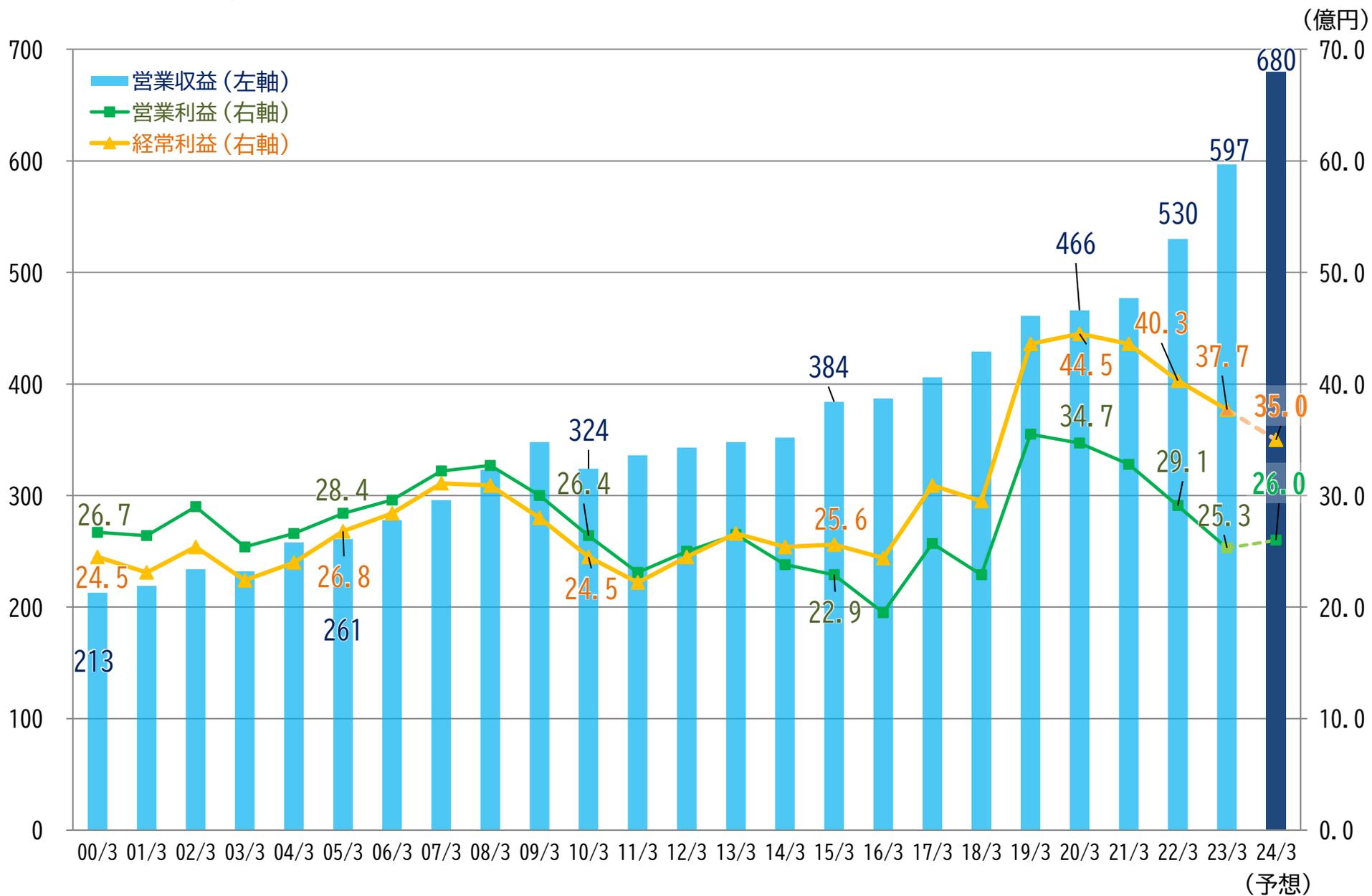
安田物流(上海)有限公司

収益構成（2023年3月期）



(*) 物流賃貸料含む

業績推移



02

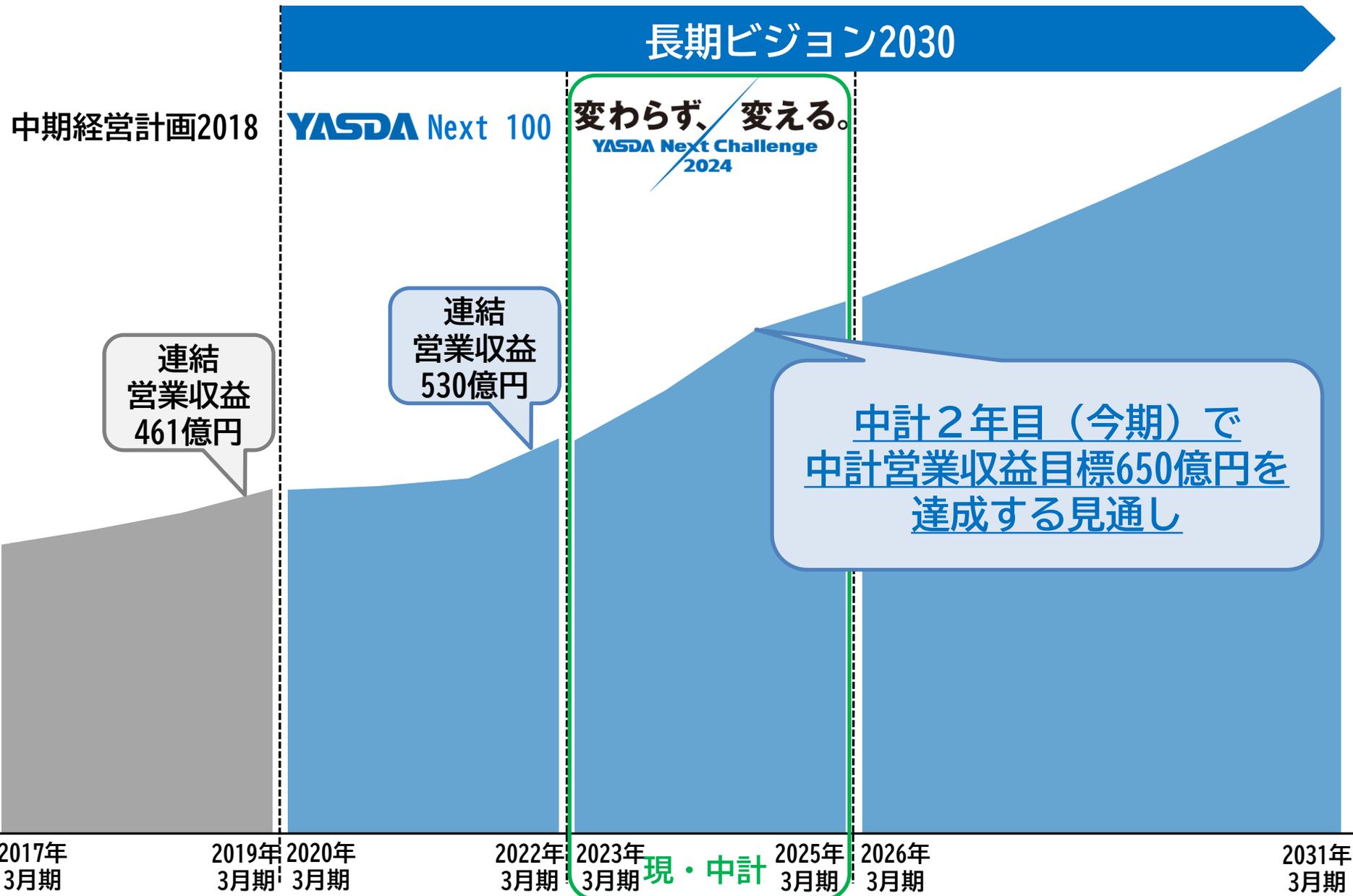
成長戦略（長期ビジョン・中期経営計画）

長期ビジョン2030

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す



長期ビジョン2030



2022年度～2024年度中期経営計画の概要

■中期経営計画

変わらず、変える。

YASDA Next Challenge 2024

■基本方針

最先端テクノロジーと人間力を融合した、
「YASDA Value」で多様化する社会とお客様ニーズに応える。

YASDA Value = お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応えする安田倉庫グループで共有する価値

■基本目標

業績目標

営業収益

650億円

営業利益

40億円

経常利益

48億円

営業利益率

6%

物流

お客様のビジネス環境に合わせた
最適なサービス提供と、
既存の物流の領域に捉われない
新サービスの創造

不動産

保有不動産の再開発による
収益基盤の更なる強化

経営インフラ

社会環境の変化にも
柔軟に対応できる
サステナビリティ経営基盤と、
確固たる現場力・人間力の確立

■基本戦略

付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充

- ソリューション提案型営業の深化
- メディカル物流拠点の拡充と体制の強化
- IT機器ライフサイクルマネジメント業務体制の拡充
- EC物流サービスの拡充
- ワークスタイルの変化に適応したオフィスサポートの事業転換
- 国内外の輸配送ネットワーク拡充
- 新しい物流技術・DXの活用による新サービス開発

保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じた事業拡大

- 芝浦地区、横浜地区の保有不動産再開発
- お客様ニーズに応じた施設の適切なメンテナンスと機能向上

「YASDA Value」に磨きをかけるための経営インフラの高度化

- 多様な人材活用と専門人材育成
- 働きやすい環境の更なる整備
- DXの基盤としての情報システム高度化
- グループ連携の強化
- ステークホルダーの持続可能な発展に貢献するサステナビリティの取り組み推進
- コンプライアンス、リスク管理の徹底とガバナンス強化
- サービス品質の維持・向上に向けた品質管理体制と現場力強化
- 事業基盤の災害強靱化と防災徹底
- 規律ある財務運営と成長投資の両立
- YASDA Next Challenge (新規事業・新規施策)

中計期間において、計360億円（物流事業280億円、不動産事業40億円、DXおよびシステム40億円）の投資を計画

中期経営計画の実現に向けて

2024年問題・労働力不足への対応①

持続可能な輸配送サービスの提供に向け、
運送グループ会社の連携強化や新たな輸送スキームの構築を図る

MAを通じた運送ネットワーク拡充とグループ連携強化



大西運輸
2019年グループ会社化
車両台数：294台
主なエリア
北陸



南信貨物自動車
2021年グループ会社化
車両台数：290台
※パワード・エル・コム分含む
主なエリア
甲信・関東・中京



YSO Logi
2023年グループ会社化
車両台数：65台
主なエリア
関西・関東・九州



安田運輸
車両台数：119台
主なエリア
関東・関西・中京
・九州・東北

23年4月、京都府八幡市を中心に運輸・倉庫業を展開するYSO Logiを新たに安田倉庫グループに迎え、グループ運送会社間での更なる相互連携の強化による運行業務の効率化を図ります。

スワップボディコンテナ 実証実験への参画



中央倉庫、日本トレクス、フジトランスポートと共同での国内初の冷蔵温度帯スワップボディコンテナの実証実験の実施など、ドライバーの労務環境改善と顧客ニーズへの対応を両立させる、新たな長距離輸送スキーム構築に取り組みます。

中期経営計画の実現に向けて

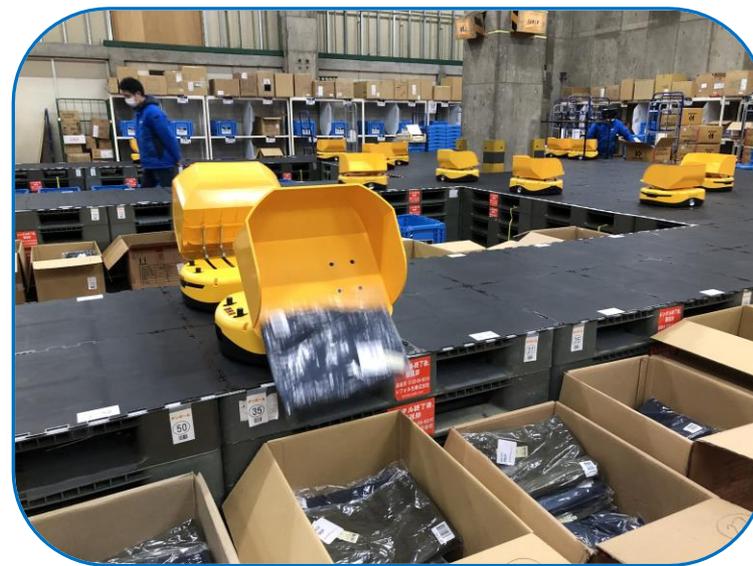
2024年問題・労働力不足への対応②

労働力不足への対応のため、21年2月に設置したDX事業推進室のもと、物流現場の省人化・AI技術の導入や実証実験に取り組む

物流現場の省人化事例



重量貨物を積載したカゴ台車を搬送する
AGV（自動搬送車）



貨物の納品先毎に仕分け作業を行う次世代型ロボットソーター

中期経営計画の実現に向けて

2024年問題・労働力不足への対応③

A I 技術の導入・実証実験

●ロボット群制御A I で稼働するAMR・自動フォークリフトの導入



作業者と協働して貨物のピックアップを行うAMR（自律走行搬送ロボット）の導入



自動フォークリフトの試験導入
(2024年3月期下期中に本導入予定)

●A I 画像解析技術の活用に向けた実証実験

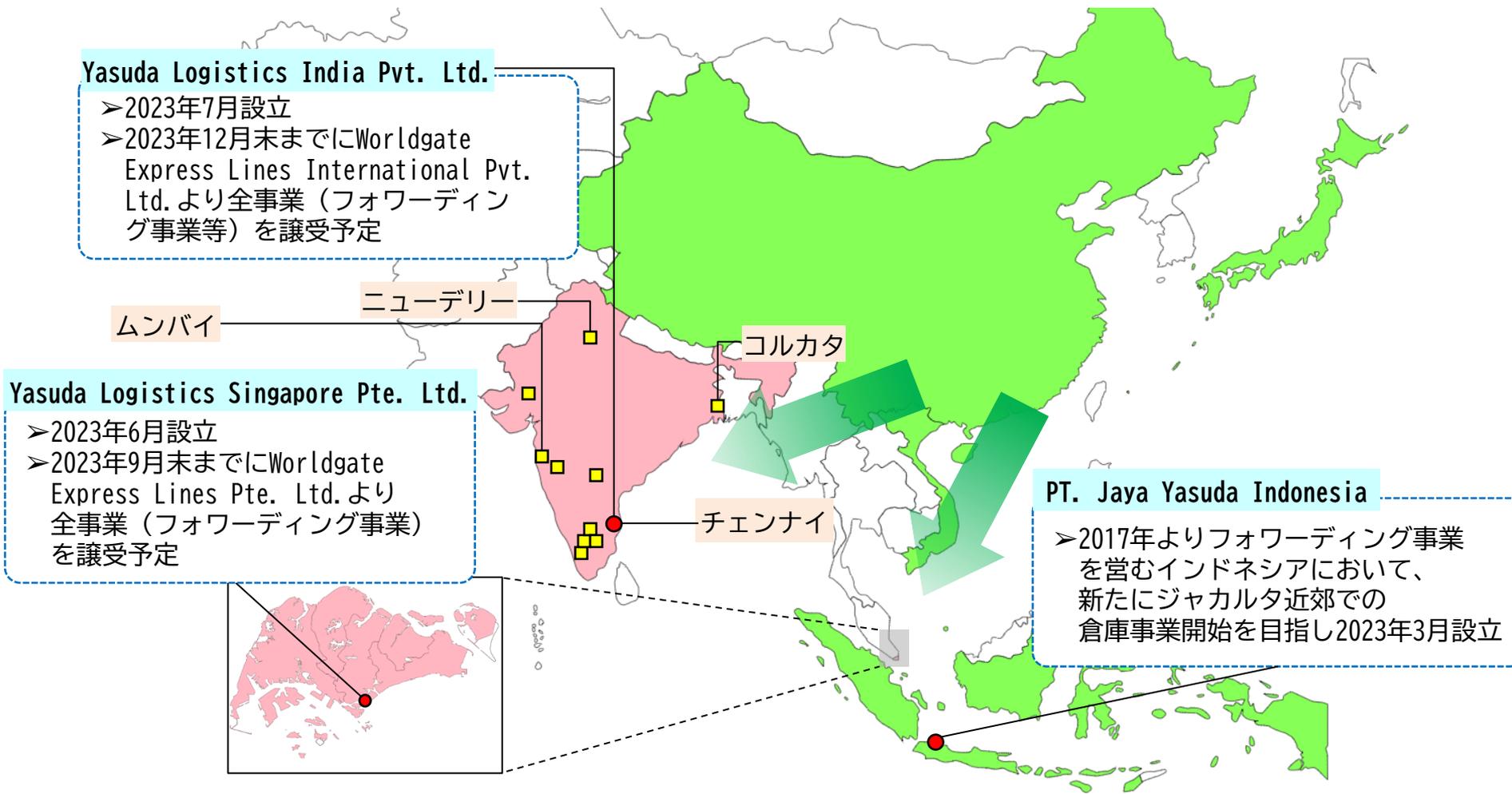


倉庫内の検品作業へのA I 画像解析技術の活用に向けた実証実験により、検品作業の省人化を目指します。

中期経営計画の実現に向けて

海外ネットワークの拡充

アジア太平洋地域におけるネットワークの拡充に向けて、MAを通じたインド、シンガポールにおける事業展開と、インドネシアにおける倉庫事業の開始を目指す



中期経営計画の実現に向けて

MA・アライアンス戦略（メディカル物流）

医薬品・医療機器のノウハウの融合を通じたメディカル物流の更なる強化

23年3月、エーザイ物流のグループ会社化



エーザイ物流本社・厚木センター

エーザイグループ製品の物流関連業務や、ほか医薬品メーカーの物流業務を担うエーザイ物流と安田倉庫グループが有する医薬品物流ノウハウ、物流施設、配送ネットワークを組み合わせることで、国内屈指の医薬品物流プラットフォームを構築し安定した総合メディカルサービスの提供を目指します。

23年10月より「安田ロジファーマ」に商号変更予定です。

22年11月、ニューロシューティカルズへの出資



ニューロシューティカルズが取り扱うCTスキャン

大学・研究機関等から医療分野における様々なニーズを汲み取り、治療・診断機器の開発から日本国内での製造支援、海外からの輸入調達を行う医療機器開発ベンチャーであるニューロシューティカルズへの出資を通じ、メディカル物流サービスの拡充や更なる業容の拡大を目指します。

中期経営計画の実現に向けて

物流拠点の更なる拡充（加須新倉庫の新設）

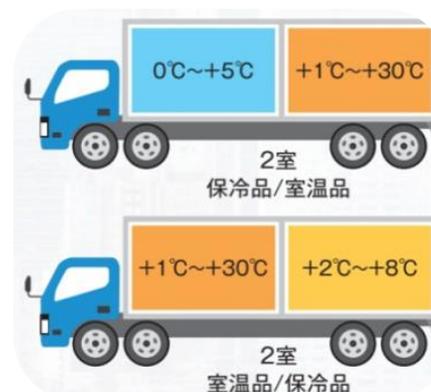
2024年3月、医薬品専用の輸配送網と、医薬品管理に必要なGDPを備えた新たな医薬品物流拠点が竣工予定



所在地	埼玉県加須市北大桑
敷地面積	約21,400㎡（約6,400坪）
延床面積	約41,700㎡（約12,600坪）
主要構造	鉄骨造（免震構造）
階数	倉庫4階建



医薬品専用車両



医薬品特性に合わせた二層式車両

中期経営計画の実現に向けて

物流拠点の更なる拡充（羽田メディカルロジスティクスセンターの新設）

医療機器総合ワンストップサービスの提供拠点として
東雲、辰巳に続く新拠点を羽田空港至近エリアに設置予定



物流事業者として初の医療機器修理業許可
（修理区分特管第1～8区分まで）取得により
医療機器総合ワンストップサービスが実現

2020年 東京メディカルロジスティクスセンターⅠ
（東雲営業所）開設



2021年 東京メディカルロジスティクスセンターⅡ
（辰巳倉庫）開設



今後 羽田メディカルロジスティクスセンター
（〔仮称〕羽田営業所）開設予定



イメージ図

中期経営計画の実現に向けて

変化する社会のニーズに応じた物流サービスの拡大①

テレワークの浸透を背景に成長するIT機器ライフサイクルマネジメント

調達処理はお客様にて対応頂きますが、
その他のライフサイクルにおける業務について
トータルでご支援致します。



企業において近年増加する、PC、スマートフォン、タブレットなどのIT機器の管理運用業務について、資産・在庫管理、キットティング、設置・導入、運用・保守、回収、データ消去、廃棄といったライフサイクルにかかる一連の業務をお引き受けする「IT機器ライフサイクルマネジメント」サービスを提供しております。



PCキットティング



スマートフォン
キットティング

中期経営計画の実現に向けて

変化する社会のニーズに応じた物流サービスの拡大②

企業の自社ECによる販売戦略をサポートするECセンター

ノウハウ

ギフト商戦に強い自社ECを可能にする
流通加工サービス



ギフト包装



メッセージカード同封



システム

EC固有の様々なニーズに対応できる
EC専用倉庫管理システムの開発



体制

平日・休日問わず短納期の実現のため
拠点集約による休日作業体制構築



22年4月、大黒営業所内に
ECセンターを開設

中期経営計画の実現に向けて

変化する社会のニーズに応じた物流サービスの拡大③

企業の働き方改革に貢献するBPOサービス



22年9月、芙蓉総合リースとBPOサービス事業分野において業務提携いたしました。業務提携の第一段として芙蓉総合リースのBPO事業関連子会社NOCアウトソーシング&コンサルティングが提供する総務アウトソーシングサービス「Somove（ソームーブ）」のサービスメニューとして、当社オフィスサポート事業の「文書保管サービス」、「オフィス移転サービス」が掲載されております。



文書保管・文書電子化サービス



オフィス移転サービス



※BPO=ビジネスプロセスアウトソーシング

芙蓉総合リースと共同で、バックオフィスの負荷軽減による働き方改革に貢献する新たなビジネスの展開を目指す

中期経営計画の実現に向けて サステナビリティの取り組み① 気候変動への対応

情報開示

TCFD提言への賛同表明



22年6月TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に賛同表明し、当社HP上で気候変動関連情報の開示を開始。具体的な開示内容は以下よりご覧ください。

[TCFD提言への取り組み](#)

CDP スコア「C」の評価

企業に対して気候変動情報開示を求める国際イニシアチブであるCDP（Carbon Disclosure Project）より、「気候変動問題について自社への影響を考慮しており問題の内容を深く理解している。具体的な行動につなげるために重要な段階」として「C」スコアの評価をいただきました。今後も気候変動への対応深化に向けて取り組んで参ります。

取り組み

東京都地球温暖化対策優良事業者 2022年度「SSランク」の評価



2022年度 SSランク

東京都内事業所の直近5か年度におけるCO₂排出量の平均削減率等が評価され、東京都より地球温暖化対策において「極めて優良な事業者」（SSランク）の評価を獲得しました。

CO₂の更なる削減に向けて

[当社グループCO₂排出量削減目標](#)達成に向けた取り組みとして、算定ツール導入によるCO₂排出量の「見える化」や、CO₂を排出しない電力への切替を進めます。



CO₂排出量は、アスエネ株式会社の「アスゼロ」にて算出しています。



本年度中の、東京メディカルロジスティクスセンター（東雲営業所）屋上への太陽光発電設備設置を予定しております。

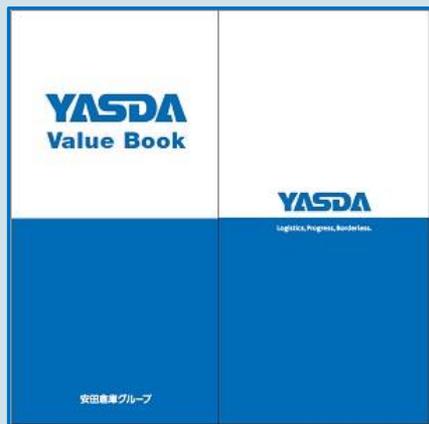
中期経営計画の実現に向けて

サステナビリティの取組み②

多様な人材が人間力を最大限発揮できる職場の実現

理念の浸透

YASDA Value Book



企業理念、行動指針、経営計画を体系的に整理し、安田倉庫グループの価値観、行動基準、目標を認識し、振り返る原点として、「YASDA Value Book」(日本語版・中国語版・英語版)を発行し、グループで働く全ての方に共有しています。

人材育成・ダイバーシティ

女性活躍推進

女性管理職割合10%以上(26年3月末)を掲げ、管理職候補への女性活躍研修や女性が働きやすい体制・環境整備を進めます。



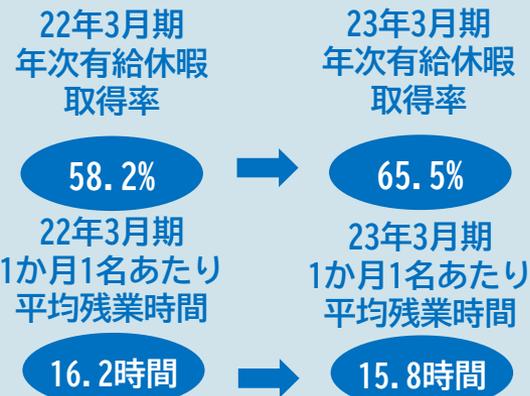
キャリア採用者の積極登用

高い専門性や異業種での経験を有する多様な人材確保と、入社後のキャッチアップ研修による人材育成をおこなっております。

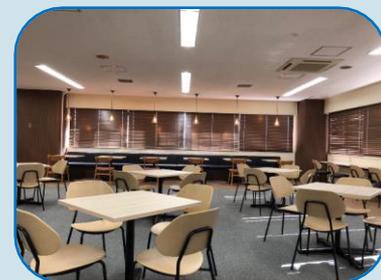
働きやすい職場環境整備

働き方改革推進

業務や働き方の見直しにより、有給休暇取得や残業時間削減を推進しております。



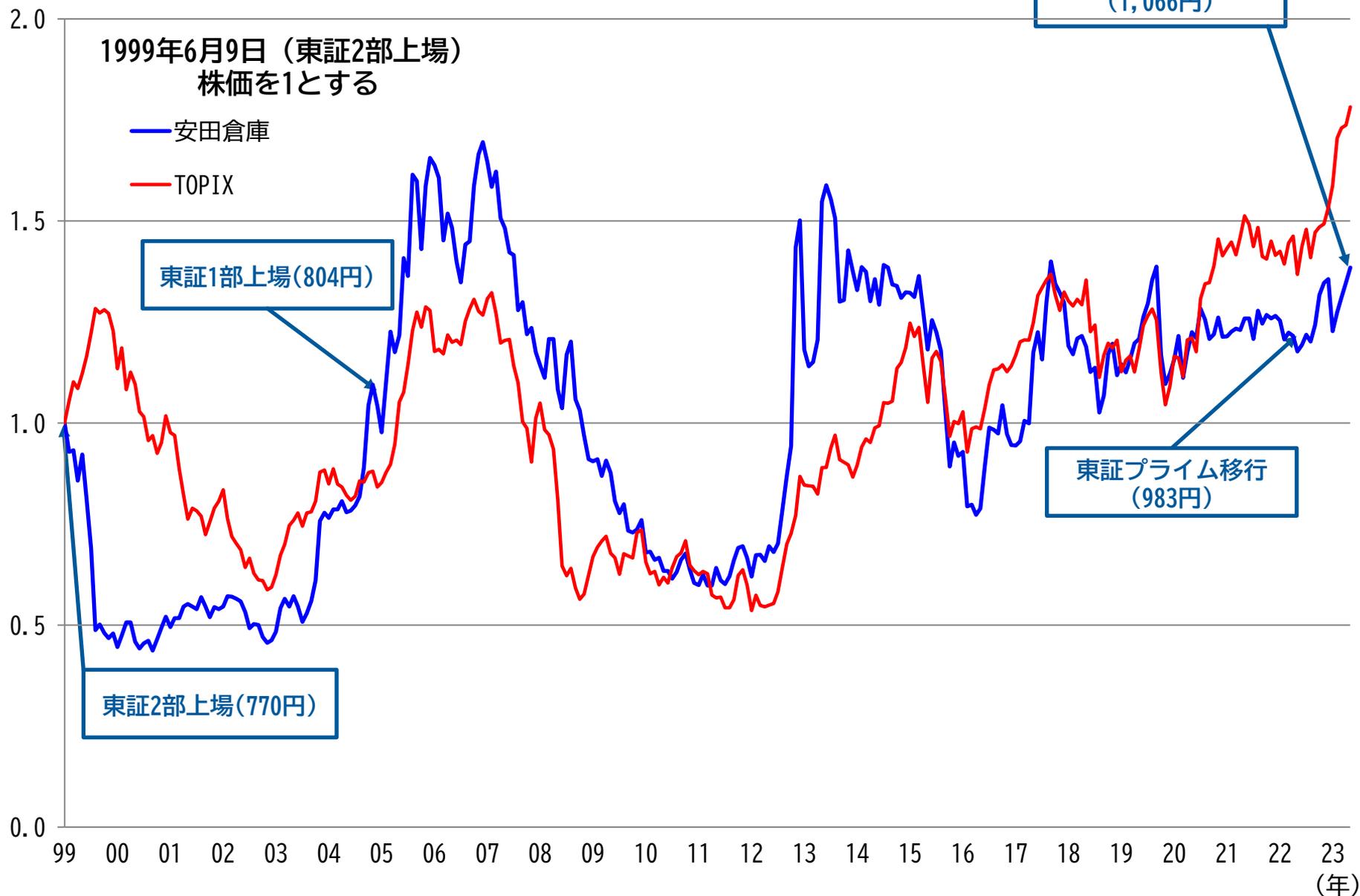
倉庫営業所への カフェテリア設置



03

株主還元

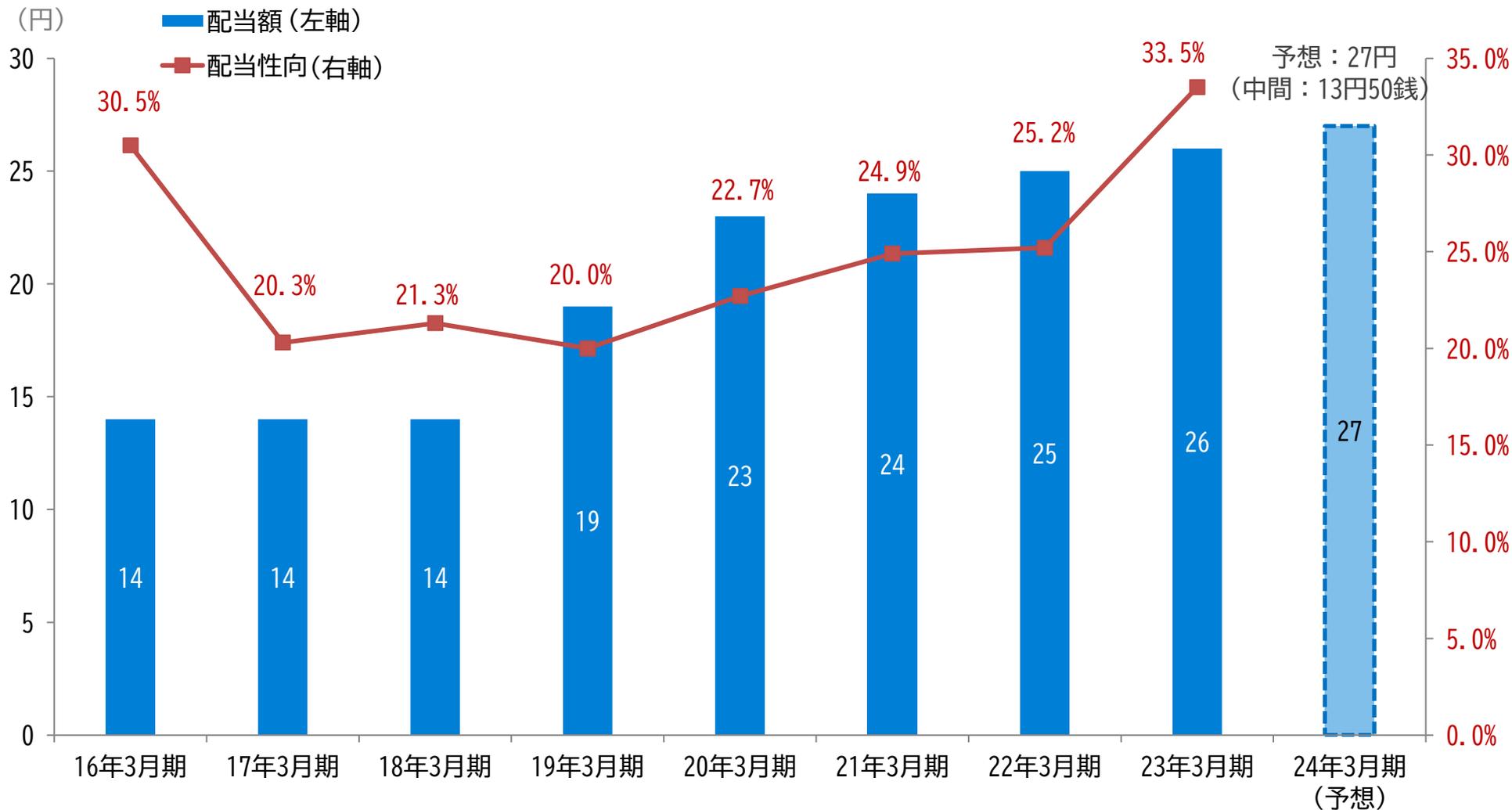
株価推移



安定配当を基本としつつ、企業価値増大を通じ中長期的に高める

<基準日> ■ 中間配当：9月末
■ 期末配当：3月末

終値 (9月8日時点)	配当 (今期予想)	配当利回り (今期予想)
1,066	27	2.53%



株主優待

3月31日付の株主様を対象に株主優待を年1回実施

ご所有株式数

100株以上～1,000株未満

1,000株以上～5,000株未満

5,000株以上～

優待品

お米券 2kg

お米券 5kg

お米券 10kg



なお、株式会社共立メンテナンス様のご協力により
単元株以上を保有されている株主の皆様
に「ラビスタ函館ベイご宿泊優待券」をお届けしております。



当社ホームページを是非ご覧ください

<https://www.yasuda-soko.co.jp>

TOPページ

個人投資家の皆様へ

YASUDA 安田倉庫株式会社
Logistics, Progress, Borderless.

事業案内 会社情報 サステナビリティ IR情報 採用情報 お問い合わせ

Search JP EN

安田倉庫株式会社 > IR情報 > 個人投資家の皆様へ

安田倉庫についてより深くご理解いただけるよう、様々な情報を掲載しております。

安田倉庫とは

安田倉庫株式会社は、1919（大正8）年の創立以来、首都圏・関西圏の好立地倉庫拠点を基盤とする総合物流サービスを展開しています。また、東京・横浜地区での不動産事業も手掛けており、収益の柱となっています。近年は、中国・ベトナム・インドネシアなど東アジア・東南アジアに係わる事業展開を強化するとともに、従来の倉庫・物流サービスの枠にとどまらない多彩なサービスメニューをお客様のニーズに合わせて提供しています。

MESSAGE
メッセージ

Logistics, Progress, Borderless.

安田倉庫は、挑戦を続けます。
国境も、従来の物流の枠も超えて、
全てのステークホルダーの期待を超えるために。

YASUDA 安田倉庫株式会社
Logistics, Progress, Borderless.

事業案内 会社情報 サステナビリティ IR情報 採用情報 お問い合わせ

Search JP EN

個人投資家の皆様へ

安田倉庫株式会社 > IR情報 > 個人投資家の皆様へ

安田倉庫についてより深くご理解いただけるよう、様々な情報を掲載しております。

安田倉庫とは

安田倉庫株式会社は、1919（大正8）年の創立以来、首都圏・関西圏の好立地倉庫拠点を基盤とする総合物流サービスを展開しています。また、東京・横浜地区での不動産事業も手掛けており、収益の柱となっています。近年は、中国・ベトナム・インドネシアなど東アジア・東南アジアに係わる事業展開を強化するとともに、従来の倉庫・物流サービスの枠にとどまらない多彩なサービスメニューをお客様のニーズに合わせて提供しています。

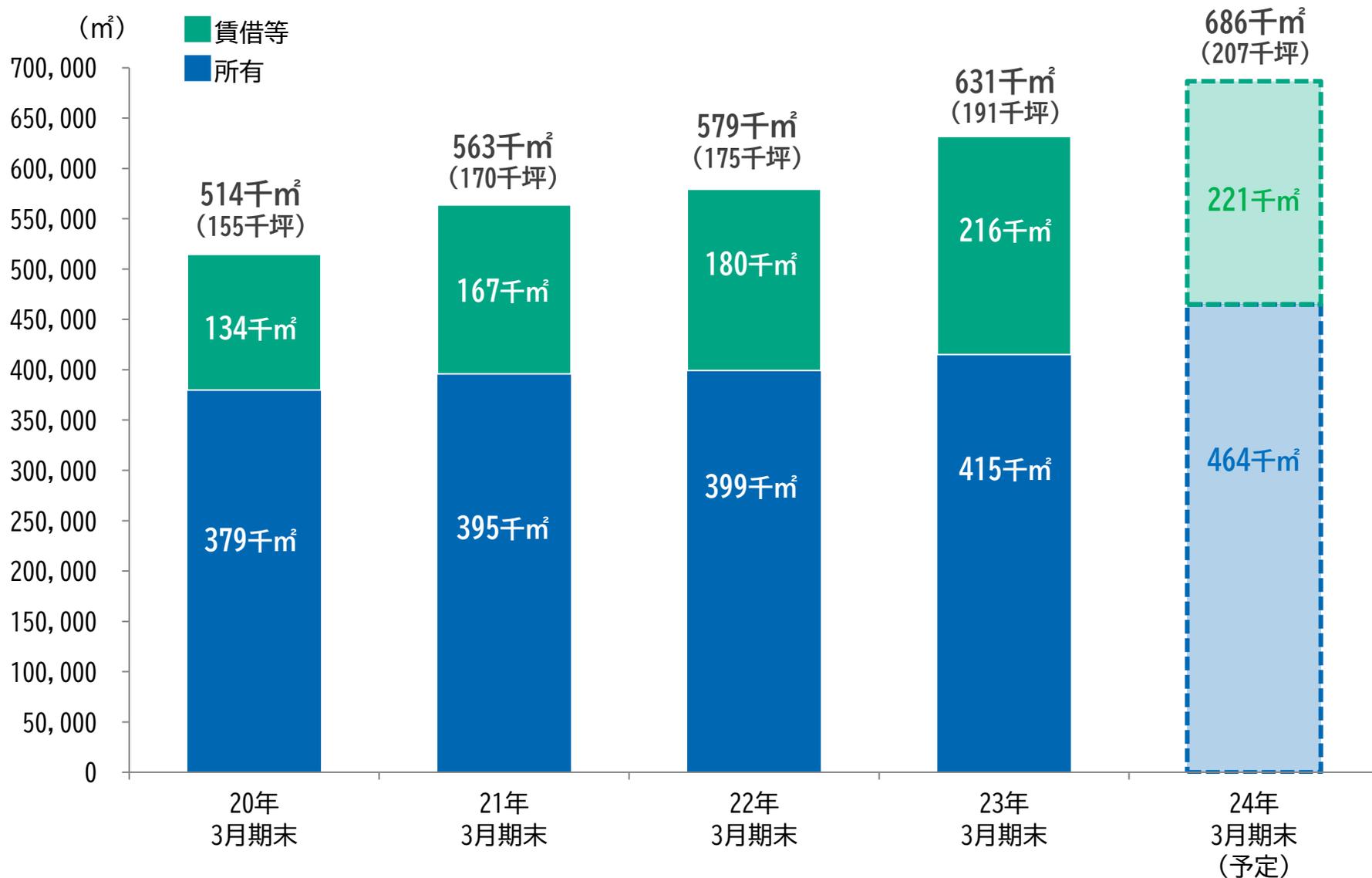
IR情報

- 長期ビジョン・中期経営計画
- コーポレート・ガバナンス
- 財務ハイライト
- IRライブラリー +
- 株式の概要
- 株価情報
- 配当・株主優待情報

04

参考資料

物流事業施設面積推移



業績推移（連結）

営業収益

(百万円)



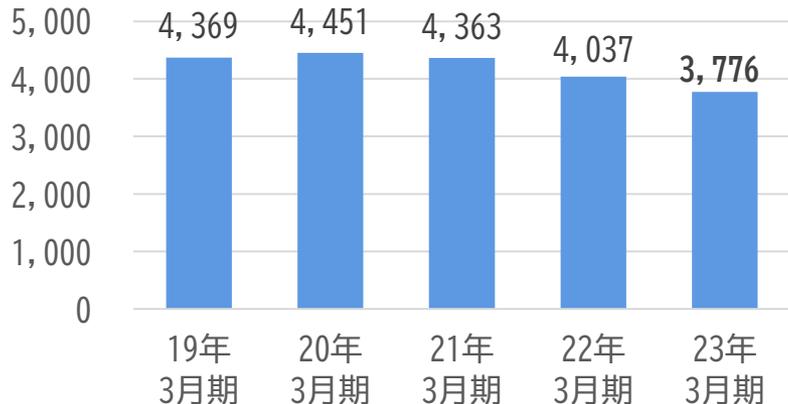
営業利益

(百万円)



経常利益

(百万円)

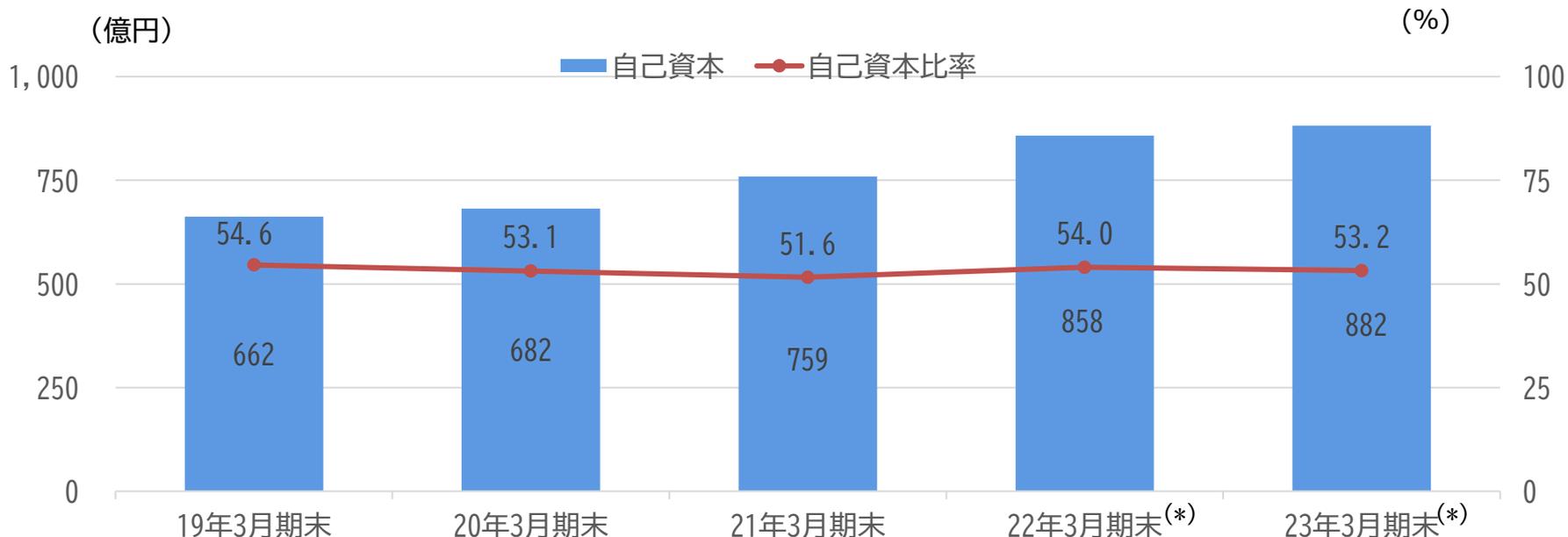


親会社株主に帰属する当期純利益

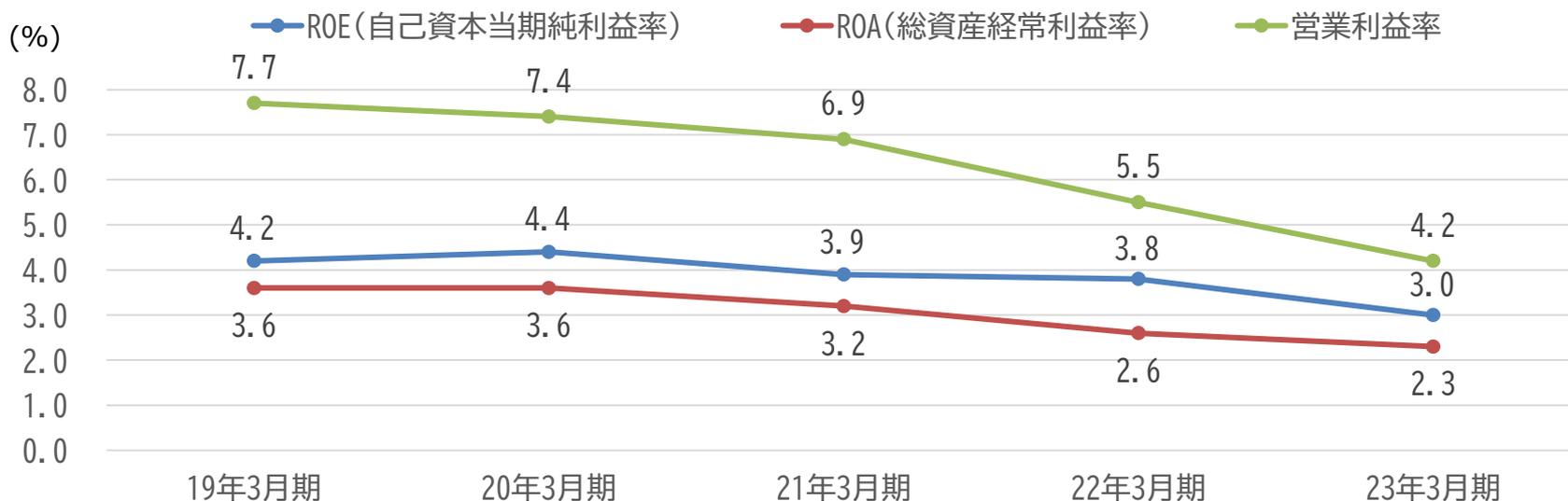
(百万円)



財務基盤



(*)22年3月期末以降については、2022年2月実施のハイブリッドローン150億円（次ページ参照）のうち、75%(112.5億円)をみなし資本として算入



国内初のソーシャル・ハイブリッドローンによる資金調達

●本ハイブリッドローン（劣後特約付ローン）概要

資金調達日	契約締結日：2022年2月24日 実行日：2022年2月28日	資金用途 一般事業資金および既存有利子負債の返済資金 資金調達額のうち60億円については、過去の東雲営業所関連費用の返済資金用途として、社会的課題の解決を目的とした「ソーシャルローン」に認定されております。 ※ハイブリッドローンとしては国内初のソーシャルローンによる調達
資金調達総額	150億円	
資金調達目的	持続可能な企業成長のための資金確保と財務的な健全性の両立	
格付機関による資本性評価	資本性「高・75%」を取得 (株式会社日本格付研究所)	



東雲営業所（東京メディカルロジスティクスセンターⅠ）では、災害などの緊急時にも医療機関への供給を止めないための設備・体制を備えており、「医療機器総合ワンストップサービス」の提供により、医療従事者の業務負荷の軽減、経営の効率化に寄与しております。今後も、医療機器の安定供給を通じ、医療課題の解決に取り組んでまいります。

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



Logistics, Progress, Borderless.

YASDA

安田倉庫株式会社

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。